

# 新座市指定管理者制度導入施設管理状況評価シート（令和6年度分）

## 【施設の概要】（所管部記入）

施設名	体育施設（総合運動公園ほか9施設）			
所在地	新座市本多二丁目8番16号ほか9か所	所管部署	教育総務部生涯学習スポーツ課	
制度導入年度	平成25年度	選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 / <input checked="" type="checkbox"/> 指名	
指定管理者	名称	公益財団法人新座市スポーツ協会	所在地	埼玉県新座市本多2-1-20
	指定期間	令和4年4月1日から令和7年3月31日（3年間）		

## 【事業概要】（指定管理者記入）

事業概要	<p>指定管理対象施設10施設の設置目的を達成するため、各施設の利用許可、使用料の徴収および収納、施設の維持管理、また市民の健康増進と体力の向上を図るために必要な事業を新座市体育施設等の管理運営に係る基本協定書等に基づき実施した。</p> <p>対象施設の利用許可、使用料の徴収及び収納については、市の条例規則等関係法令に基づき適正な利用許可並びに収納事務を行い、令和6年度は全10施設における総利用者数は368,325人となり、施設全体の前年度比が79.3%（令和5年度利用人数464,198人）とかなりの減少となった。これは、新座市民総合体育館の非構造部材耐震化工事及び空調設備工事に伴う影響が大きいと考えられる。主に令和5年12月25日から始まり、令和6年の7月末までの間、サブアリーナをはじめ第一武道場、第二武道場、弓道場等主要な施設の休場を余儀なくされ、さらに令和6年8月から令和7年3月末までメインアリーナおよび3階ジョギングコースの閉鎖により、大会開催及び教室事業への影響が利用人数減少の要因である。さらに総合運動公園でも、陸上競技場の三種公認取得の改修工事が令和6年4月から令和6年12月13日まで行われた。これにより総合運動公園も稼働率27.9%に留まる結果となった。それでも各施設のご利用者へは、このたびの大規模な工事について、きめ細やかな周知等に努めたことにより、概ねご理解を頂き、大きなトラブルを生じることはなかった。</p> <p>その他、今年度も「クリーンアップデー」を実施し、利用者や加盟団体と協働して、グラウンド整備・草刈り等、日常維持管理を細目を実施する等、コンディションの維持・向上と安全確保に努めた。</p> <p>各施設の老朽化による故障部分の修繕においても、なるべく自主修繕・部分修繕で対応した他、指定管理者でも限界がある大規模になるものについては市所管課へ報告し、破損内容を共有しながら連携して対応した。</p> <p>総合体育館の空調設備等工事に伴い一部中止した事業を除き、フィットネス教室や高齢者向けの健康教室の他、幼児体操教室等、幼少期から高齢者に至るまで、令和6年度は49コース、9,612人のご参加をいただいた。この他、市民へのスポーツ振興と健康で文化的な生活と共に公共の福祉の増進に資するために、スポーツ教室等に対して職員派遣を実施した。</p>
特筆事項	<p>総合体育館の空調設備等工事に伴う7月末までの1階部分の利用中止から8月から始まる2階・3階工事へ工期スケジュール手法等、市所管課とも調整を行いながら利用者へ周知・調整等の対応を混乱することなく実施した。</p> <p>8月8日からサブアリーナ、8月24日から第一武道場・第二武道場の空調試運転を開始し、所管課と連携しながらデータ収集に努めた。</p> <p>8月7日に発令された線状降水帯による市内河川氾濫避難警報により総合体育館に避難所が開設され、新座市危機管理室からの要請に従い、避難所運営に協力した。また、大風・大雨後の倒木の処理、降雪前から降雪後の安全管理や、利用者の危険となりうる毛虫の駆除、蜂（雀蜂を除く）の巣の除去など専門業者を要するもの以外は全て職員にて対応することで経費の縮減を図った。</p> <p>その他、引き続き新座市シティプロモーション課からの野火止水クリーンアップ事業など、新座市からの要請に対して積極的に協力した。</p> <p>STECフィールド大和田を含む大和田水辺の丘公園開園に向けた駐車場の案内に関しても、該当利用者および関連団体への周知および協力を図り、一定のご理解をいただいた。</p> <p>新座市民総合体育館トレーニングルームマシンの新規マシン入替えや、体育館および各庭球場の券売機の新札対応機種へのスムーズな入替え等、利用者への満足度の向上と利便性の向上に努めた。</p> <p>総合運動公園陸上競技場改修工事に伴う、市所管課との調整や利用者への周知なども実施した。例年、本会場で実施している中学生年代の大会が、他会場での開催となるので、必要備品の貸出や運搬について協力し、青少年のスポーツ活動への影響を最小限となるよう努めた。</p>

【総合評価】

指定管理者の自己評価

総合評価	S	<input type="checkbox"/>	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	<input checked="" type="checkbox"/>	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	<input type="checkbox"/>	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	<p>今年度も、市所管課と密に連絡調整を行いながら、各事業を予算の範囲内で実施することができた。</p> <p>総合体育館においては非構造部材耐震化工事及び空調設備等工事に伴い7月末までの間1階部分、8月から翌年3月末まで2階・3階部分の施設閉鎖が生じたため、かなりの事業が休止等を余儀なくされたが、エントランスを会場として利用するなど、利用者へもご協力をいただきながら、創意工夫することで、縮小しながらも開催に繋げることができた。また、併せて総合運動公園陸上競技場の改修工事が行われ、中学生の学校総合体育大会等の教育活動やイベント・大会開催に影響も懸念されたが、事前の調整により、開催会場へ備品を貸し出す等、影響を最小限にとどめることができた。</p> <p>大和田水辺の丘公園新規オープンに当たり、STECフィールド大和田利用者への駐車場確保について、市と連携しながら調整することができた。</p> <p>8月には線状降水帯（局地的な大雨）発生に伴う警戒レベル3が発令され、緊急指定避難場所である総合体育館が避難所として開設された。新座市危機管理室と協働し、市民の安全確保に協力できた。今後も地震や風水害リスクを想定しながら、避難所施設利用計画に則して、新座市危機管理室と連携し対応していく。</p> <p>個人情報保護法、スポーツ振興法、消防法等、関係する法令を遵守し、市との間で締結した指定管理協定の内容を熟知し定められた業務範囲、サービス水準、報告義務などを確実に履行することができた。また、利用者の安全を確保するため施設や設備の日常点検、定期点検を徹底し、事故や災害時における緊急時の対応や加盟団体を対象とした救命講習などを実施することで被害を最小限に抑えるための準備を継続して行うことができた。</p> <p>令和6年度は中核施設の工事期間が長く、一部閉鎖をしながらの管理運営を行った1年であった。今後、一度離れた顧客を再度、新座市民総合体育館をご利用いただくために、更なるサービスや工夫を凝らしていきたい。</p> <p>利用者サービスの向上については、最新のニーズを把握するため各施設にアンケートボックスや意見箱を設置し、電話、メール等でもいただいた多くのご意見に耳を傾けながら、施設管理や教室事業等に積極的に取り入れて対応することができた。</p> <p>効率的な施設運営については、利用状況や業務量に応じて適切な人員配置を行い、また光熱費や修繕費等の削減においては、利用者サービスの低下に繋がるような過度の削減を避けつつ適切な管理を行うことができた。</p>			
改善策				

市の評価

総合評価	S	<input type="checkbox"/>	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	<input checked="" type="checkbox"/>	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	<input type="checkbox"/>	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	<p>令和6年度は市民総合体育館で空調設備設置工事及び非構造部材耐震化工事、総合運動公園で陸上競技場改修工事を実施するなど施設が長期利用できない期間が発生したため利用者に多大な影響を与えることが懸念されていたが、代替場所での教室開催や大会においても他会場へ備品を貸与するなどの創意工夫をし、通常発生しない事項に対しても利用団体と事前調整を行い柔軟に対応したことで、大きな混乱もなく適切に運営管理ができたことは評価できる。市民総合体育館や総合運動公園において工事等の影響で減ってしまった利用者数を回復させるためには、今後、利用者のニーズを汲みながら利用者目線のサービスや創意工夫を行うことが必要だと考える。</p> <p>また、3月に大和田水辺の丘公園がグランドオープンしたことに伴い、今までも懸案であったSTECフィールド大和田利用者の駐車場問題がより激化することが想定されるため、貴団体でも適宜、現状確認を行うほか利用者からの意見、要望を聴取するなどし、今まで以上に市と連携しながら対応するようお願いする。依然として施設・設備の老朽化は進んでいることから、修繕必要箇所を適切に把握するとともに、優先順位を考慮した対応を行い、施設利用者の安全性の確保に努めてもらいたい。</p> <p>令和7年度からは貴団体とコナミスポーツクラブ㈱の共同事業体である「スポーツにいぎコンソーシアム（SNC）」が新座市体育施設等指定管理者として新たに施設の運営管理を行うこととなるが、平成25年度から指定管理者となっている貴団体が積み上げた長年の知識・経験とコナミスポーツ㈱が持っている民間企業の施設管理やスポーツ教室事業等のノウハウが十分に発揮できるよう密な連絡調整を行うとともに、引き続き市と連携しながら市内スポーツ施設の安全な運営管理をお願いしたい。</p>			

【市の評価を受けた今後の取組や改善策等】（指定管理者記入）

この度の評価を受け、今後の取組みについて、次の通り行って参りたい。

システムのDX化に対し、評価いただいたことから、利用者向上につながる公共施設予約システムの見直しにおいても、利用者にとって更に使やすくするよう、市と連携しながら構築していく。引き続き、施設・設備の老朽化による適切な修繕を行うと共に、利用者への公平かつ安全な運営を心がける。施設・機械器具修繕費においても予算を超えることなく、適切に執行していく。

市民総合体育館や総合運動公園において、大規模修繕工事に伴う柔軟な対応による運営管理を評価いただいていることから、今後も想定外の状況に対する「対応力」を高めてまいりたい。減少した利用者数の回復においても、改めて利用しやすい時間区分の考案や、施設の有効利用を時代やニーズに合った提案をしていきたい。駐車場問題が懸念されるSTECフィールド大和田に関して、適宜現状確認を行いながら、市所管課と連携して対応していく。また、令和7年度より、コナミスポーツ株式会社と「スポーツにいぎコンソーシアム」として管理することから、新たに民間企業のノウハウを取り入れながら、指定管理者として新たなステージでの施設管理に努めてまいりたい。

12月21日には新座市にて初めて開催される「新座市施行55周年記念大相撲冬巡業新座場所」も予定している。このイベントも新座市と連携しながら成功を収められる様、尽力してまいりたい。

【過年度の評価結果まとめ】（所管部記入）

評価区分	4年度 (1年目)	5年度 (2年目)	6年度 (3年目)
指定管理者の自己評価	A	A	A
市の評価	A	A	A